2022年度　　事業報告書

特定非営利活動法人　かぷかぷ山のようちえん

1　事業の成果

本年度は以下のビジョン・ミッションを策定し、活動を行った。

ビジョン　：　自然と、自然に ～誰もが自然体で自然とともに暮らせる社会～

ミッション：「自然にそのまんまでいられるところ」

策定を通して、従来から取り組んできていた、異年齢親子自然体験事業「山のようちえん」、自然あそびきっかけ事業「森のとしょかん」、地域の自然体験啓蒙事業「おまつり・ボランティア養成」の意味意義を改めて考えながら、「自然にそのまんまでいられるところ」としての活動を行ってきた。

また、従来からの自然体験事業が、経済面および心理的・身体的に参加ハードルが高いと感じる親子が一定数いると思われる中で、新たに「子育て支援事業」として市内の公園で行う『外遊び型子育て広場「はらっぱひろば」』を試行した。青梅市市民提案協働事業に採択され、子ども家庭支援課と協働して実施。参加費は無料とした。結果として目標100名に対して300名を超える参加があり、市街地にある公園での活動の意義を実感した。青梅市ならではでの子育て支援になるとの感想もあり、来年度も継続して活動を充実させていく。

1）親子自然体験事業

①異年齢親子自然体験事業「山のようちえん」

異年齢親子が自然体験を行うことで、自然と自然に親しみ啓蒙していく市民を増やす活動を行う。親子で自然を体験できる場を年間を通して定期的開催（月7回）し、自然を知り学び親しみを持つ体験を仲間とともに行う場を通して、ありのままの親子の姿で過ごせる穏やかで安心なコミュニティづくりを行った。

■受益者人数

延べ受益者数：0歳～小学生までの市内外の親子／938名

開催場所：市内の自然公園・私有地ほか　開催回数：68回　運営スタッフ：7名

（2021年度1315名/84回）。

②自然あそびきっかけ事業「森のとしょかん」

地域の親子のための自然体で自然の中で過ごせるきっかけとなる事業として、全ての親子が自然と親しむきっかけとなる無料の場づくりを定期的に行う。自然体験よりも参加しやすい場づくりとして、参加費は無料とし、経費は全額助成とした。

2月の開催時には場所を「師岡自治会館」に移動し、「青梅市師岡1丁目自治会」様に後援、民生委員さんなどの広報協力をいただき、運営時に高齢者サロンと同時開催することで地域の高齢者と乳幼児親子が触れ合う機会を作ることができた。来年度も継続し、より地域に密着した活動を探っていく。

■受益者

延べ受益者数：0歳～3歳くらいまでの市内外の親子／108名

開催場所：わかぐさ公園・師岡会館　開催回数：4回　運営スタッフ：3名

③地域の自然体験啓蒙事業

「誰もが自然体で自然とともに暮らす社会」の実現に向けた、広く地域市民のための自然への入り口事業として、トークイベントや地域フェスタの実行委員を務めて自然と子どもの育ちに関する様々な視点からの講義や対話を生み出し、地域の中で自然とともに子どもの育ちを見守る場を充実させる大人を増やした。

■受益者

森とこどものお祭り　（3月）参加者数　106名

自然とともに子どもの育ちを見守るボランティア養成講座（6-2月）　参加者数　12名

（青梅こどもふれあいフェスタ参加者数1515名

※青梅子ども関連NPO協議会主催・2022年度実行委員長として）

2）子育て支援事業

①外遊び型子育て広場「はらっぱひろば」

長引くコロナ禍において、地域交流の場が減少したことにより、地域の子育て仲間や相談先との繋がりを持てずに妊娠・出産を迎え、“孤育て”となるご家庭が増えています。地域の子育て仲間や相談先や住民・お店・法人などとの繋がりを持ち、安心して妊娠・出産を迎え、安心して子育てができるよう、
自然の中での赤ちゃんと妊婦さんの地域交流の場 「はらっぱひろば」を立ち上げた。
「はらっぱひろば」は、妊娠中から生後1年未満の乳児期の子を持つ家庭が、
①やがてふるさととなる青梅の自然の中で、リラックスしながら妊娠期や子育てを楽しみ、
②産前・産後・子育てを共にする仲間を作り、
③地域に住む方や地域の子育て支援者と顔見知りになり、相談でき、暮らしやすくなる
ことを目指す。

青梅市市民提案協働事業に採択され、子ども家庭支援課と協働して実施。参加費は無料とした。結果として目標100名に対して300名を超える参加があり、市街地にある公園での活動の意義を実感した。来年度も継続して市の支援をいただきながら活動を充実させていく予定。

■受益者
延べ受益者数:0歳～3歳くらいまでの市内外の親子／302名(6月のプレ開催を含む)
開催場所:わかぐさ公園 開催回数:11回 運営スタッフ:3名

2 事業の実施に関する事項
(1)特定非営利活動に係る事業 (事業費の総費用【4,085】千円)

定款に記載された事業名	事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
親子自然体験事業	異年齢親子自然体験事業「山の ようちえん」	青梅の自然豊かな自然公園や私有地で、季節の自然と暮らしに親しむ0歳からの親子自然体験活動の企画運営	2022年4月～2023年3月	青梅市の自然公園および私有地	7	未就学児親子	938名/68回	3,690
	地域の自然体験啓蒙事業	ボランティア講座 年10回 トークイベント1回	2022年6月～2023年3月	風の子太陽の子広場	1	未就学児親子	118名/11回	70
	自然あそびきっかけ事業「森の としょかん」	**親子で地域の公園や公民館で青空の下絵本を読み、読み聞かせや工作を楽しみながら、気軽に自然と本に親しめる活動の企画運営**	2022年5月～2023年2月	わかぐさ公園・師岡会館	3	未就学児親子	120名/4回	89
子育て支援事業	妊婦乳児親子の地域自然居場所づくり事業「はらっぱ ひろば」	コロナ禍で地域交流の場が減少したことにより、地域の子育て仲間や相談先との繋がりを持てずに妊娠・出産を迎え、“孤育て”となる家庭が増えている。 妊婦さんと赤ちゃんを持つ家庭が、地域の子育て仲間や相談先や住民・お店・法人などとの繋がりを持ち、安心して子育てができるひろばの企画運営	2022年6月～2023年2月	青梅市風の子太陽の子広場	3	妊婦・0歳～3歳くらいまでの親子	302名/11回	236

法人名：　NPO法人かぷかぷ山のようちえん

活動計算書

2022 年 4 月 1 日 から 2023 年 3 月 31 日 まで

（単位：円）

科　目	金　額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	11,000		
親子会員受取会費	2,603,638		
サポーター会員受取会費	179,000	2,793,638	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	83,430	83,430	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	640,357	640,357	
4. その他収益			
受取利息	3		
雑収益	7,636	7,639	
経常収益計			3,525,064
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
業務委託費	1,253,020		
謝金	115,050		
印刷製本費	1,210		
消耗品費	880		
地代家賃	7,700		
事業支出	452,863		
その他経費計	1,833,753		
事業費計		1,833,753	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	1,428,560		
法定福利費	189,603		
人件費計	1,618,163		
(2)その他経費			
印刷製本費	9,086		
通信運搬費	199,971		
地代家賃	130,000		
保険料	55,011		
諸会費	17,000		
支払手数料	98,810		
支払助成金	123,242		
その他経費計	633,123		
管理費計		2,251,286	
経常費用計			4,085,039
当期正味財産増減額			△ 559,975
前期繰越正味財産額			764,524
次期繰越正味財産額			204,549

法人名:　特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん

貸借対照表

2023 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	480,407		
流動資産合計		480,407	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			480,407
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	2,790		
役員借入金	273,068		
流動負債合計		275,858	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			275,858
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		764,524	
当期正味財産増減額		△ 559,975	
正味財産合計			204,549
負債及び正味財産合計			480,407

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)　棚卸資産の評価方法

該当する資産はありません。

(2)　固定資産の減価償却の方法

20万円以上の資産は固定資産として計上します。

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3)　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

法人名:　特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん

財産目録

2023 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
ゆうちょ	473,008		
みずほ(法人)(API)	7,399		
流動資産合計		480,407	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			480,407
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	2790		
役員借入金			
理事1名	273068		
流動負債合計		275,858	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			275,858
正味財産			204,549

書式第18号（法第28条関係）

事業報告用

年度年間役員名簿（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん

1　確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2　役員一覧

	役名 どちらかに○	（フリガナ） 氏名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	理事	ｶﾜｻｷﾖｼﾔｽ 川崎由保		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	
2	理事	ｻｶﾀﾀﾞｲｽｹ 坂田大輔		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	
3	理事	ﾐﾔｶﾞﾜﾏｷｺ 宮川真樹子		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	
4	理事	ｵｶﾞﾜｻﾄｼ 小川聡志		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	
5	理事	ﾔﾅｷﾞ（ﾉﾑﾗ）ﾅｵｺ 柳（野村）直子		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	
6	監事	ｺﾊﾞﾔｼｼｭﾝ 小林峻		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	
7	理事	ｵｶﾞﾜｶﾅｴ 小川佳那恵		2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日	2022年　4月　1日 ～ 2023年　3月　31日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん

	氏　　名	[redacted]
1	小川　佳那恵	
2	神戸　留美	
3	宮川　貞樹子	
4	中能　孝則	
5	坂田大輔	
6	小川　聡志	
7	杉　盛明	
8	杉　恵美子	
9	安井万寿美	
10	川崎由保	
11		

監査報告書

令和　5年　5月9日

特定非営利活動法人　かぷかぷ山のようちえん
理事長　小川　佳那恵　殿

税理士法人　小澤会計事務所
代表社員税理士　小澤　英喜 [redacted]

私は、特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえんの令和４会計年度（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）の財務諸表の注記、活動計算書、貸借対照表及び財産目録について決算監査を行いました。

監査の結果、上記の書類が、NPO 法人会計基準に準拠しており、特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえんの令和４会計年度の収支及び事業活動の状況並びに同会計年度末日現在の財政状態をすべての重要な点においていずれも適正に表示されかつ正確であることを認めます。

以上のとおり、報告します。